

ナチュール

人と地球を元気にする

nature

Dec.2012 Vol.10

定価680円

Nature Eye **KEIKO ONO AOKI**

長谷川章

特集

南アフリカ

地球のこちらと向こうで繋がろう

モハウ・ペコ

柴田秀一郎

佐山サトル

スマートな平和 ノ・ジェス

益田祐美子

宍戸 勝

おおえまさのり

AKAMO

松永亜鈴

木野正人

李 伯淳

大江亜紀香

行徳哲男

豊 秀之

千葉マリア

井口 浩

光永 勇

港健二郎

SHIBAYAMA YUUYA

グレッグ・アーウィン

ミネハハ

内田 カ

久野登久子



「これからの世界を
女性が変わえていかなければ
ならないと思っています。」

南アフリカ大使
モハウ・ペコ



SA/JAPAN WOMEN IN DIALOGUE と題して南アフリカと日本の女性との対話イベントが明治記念館で開催された。

ゲストには、Millennium Promise Japan の北岡代表、Sakai Womens Organization の山口代表、Calbee, Inc の松本 CEO らが参加して活発な意見交換が行われた。

MOHAU PHEKO 南アフリカ大使は、これから先の世界について「今の状況を変えることが出来るのは女性です」と強く語られた。

本当の意味での平等へ

今日は南アフリカと日本の女性との対話の場所に来ることができて大変嬉しく思っています。ここに来ていたタンザニアの大使、リベリアの大使、そして南アフリカ大使、3人とも女性大使ですけど、私たちが一番どういう力があるかを知っていると思います。

私たち女性は、平均寿命が長いだけでなく、強く、賢いです。大変な可能性を秘めています。ただ、経済的な立場の中では、まだまだ、平等というにはほど遠い状況であると思います。この中に女性が入っていき、本当の意味での平等な社会をつくらなければならないと思います。

現在の社会情勢は、経済が大変なことになっていまして、アメリカでは経済破綻が起り、また、ユーロについても通貨の問題があります。日本でも、銀行に貯金をしないという現象が起きていると聞きます。

世界が経済破綻の状況であるわけですが、私は女性がこの状況を変えていかなければならないと考えています。なぜなら、女性には男性にはないパワーがあります。ですから、今の状況を変えることが出来るのは女性であると思っています。

新しい可能性とは

まず始めに、弱い立場にあるという場合、たいてい女性が含まれていることが多いのです。また、特に子供たちは親が経済的に貧しい場合に不利な立場に置かれます。

例をあげますと、台所でパイをみんな焼いたとしましょう。そして、みんなそれを食べるとしましょう。その時に、全員の座る場所がない、そういう時にそこにどうにかして入らないといけないわけです。これが、非常に大切なことなんです。席がいつばいに入れない時に、今まではお願いで「入れてください」という状況でした。なんとかして入り込まなければ、パイにはありつけませんし、ではどうすればいいかということになります。

パイが、現在の経済状況と例えてみればわかりやすいかと思いますが、この経済の状況に対して、女性がいづまでも外から眺めていては、状況は変わりません。そこに、女性が無理やりにも入り込むことで可能性が見えてきます。また、このパイが、国の予算と例えるなら、この予算を確保するために、教育ですとか、医療ですとか、様々な予算がありますが、実際にこの予算を使っているのは女性や子供なのではないでしょうか？

Dr MOHAU PHEKO プロフィール

国際関係協力省に 2010 年 8 月入省。2010-2011 年、南アフリカ共和国駐カナダ高等弁務官を経て 2012 年より駐日特命全権大使就任。様々な国連機関で開発支援プログラムのコンサルタントを務める。社会的一体性、人間としての一体感、マクロ経済の強化、核エネルギーの平和的利用、地政学、政治経済学、ジェンダー問題の支持者であり、しばしば国際的に発言。また、貧困、機構変更、HIV/AIDS、世界的な金融構造など、21 世紀の共通課題には、共に取り組むことと革新的な解決策が必要であると確信している。

例えば、家族が病気になるのは病院に連れて行く、こういうところでも女性が関わってくるわけです。子供たちを学校に行かせる、ということでも、実際にお金を動かしていくのは女性であると言えると思います。ですから、政府に女性が関わっていかねば、実際にどう動かしたい、と言っても立ち行かないわけです。



また単に法律を変えればいいというわけでもありません。これを、独立させて別個のものとして、確固たる仕組みが作られなくてはならないと考えています。

文化も変えなくてはいけない、習慣も変えていかなくてはいいけません。家族のあり方を、すべてを変えていなくてはなりません。男だから、車で遊ぶとか、女の子だから、ピンクのお人形で遊ぶとか「女の子がそんな車で遊んじゃいけません」などという事があつてはいけません。

日本では売れ残ったクリスマスケーキという言葉もあるようですが、結婚の意識も変えていかなくてはいいけません。

チエンジ させること



アクションを 起こすこと

教育機関の立場からの変化がなくてはなりません。本当に良い経済、本当に良い社会はどういう社会か真剣に考えていかなくてはいいけません。

女性はキッチンとバススタブのある場所から、社会に出ていかななくてはならないのです。

南アフリカのキャンペーンの一つで、白いTEEシャツに文字を書いたのですが、ピンクと黒でメッセージを書いて、女性がパワーを持っている、そして、あらゆるところにいる、というシャツを着て歩きました。男性たちは、これを抑えることが出来なくてキャンペーンは成功しました。これは女性が積極的に動いたことが功を奏したいい例だと思います。

しかし、現実には、バスに乗っても後ろのほうに座っているのが女性です。アクションをどんどん起こさなければ変わりません。

女性は苦難や悩みに向き合っていると思います。わかつてほしいということ、本を書いたり、レポートを書いたりしています。みなさんで読んでシェアしてほしいという想いが詰まっているのだと思います。

南アフリカ共和国は、国会議員の女性の進出率が世界で第3位になっています。



左よりREIKO SUZUKI KITAOKA, NORIKO YAMAGUCHI, Dr MOHAU PHEKO, AKIRA MATSUMOTO

黙っているだけでなく、実際に行動に出ている人たちがからです。今までどういう立場にあったのか、これからどういうふうにしていきたいのか、考えをこれからもシェアしていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

主催 (HOST):
EMBASSY OF THE REPUBLIC
OF SOUTH AFRICA

協力 (SUPPORT):
WORLD CHILDRENS FUND,
JAPAN (NPO)
WOMENS INTERNATIONAL
NETWORKING (WIN),
JAPAN
INTERNATIONAL EXCHANGE
ORGANISATION (IEO),
JAPAN (NPO)